

3月定例会

— 議案審議の状況 —

平成29年第1回定例会は、2月28日から22日間の会期で開かれました。一般会計補正予算（第10号）を初め、議案26件（議員提出議案2件含む）、報告3件、同意6件が上程され、原案のとおり可決されました。

平成29年第1回定例会の開会に当たり、小山田市長が市政運営の基本方針と所信の表明をしました。

（以下は抜粋及び要約して記載しています）

我が国の社会経済情勢は、これまでの拡大・成長を基調とする社会から安定・成熟型の社会へと移行しており、時代の大きな転換期を迎えています。本市においても、人口減少・少子高齢化対策や地域経済の維持増進、観光振興、公共施設の整備など、取り組むべき多くの課題を抱えています。

これらを解決するため策定した「第2次十和田市総合計画」の基本構想では「～わたしたちが創る～希望と活力あふれる十和田」を将来都市像に掲げ、これまで以上に関係各位を初め市民の皆様と連携・協働し、将来にわたり持続可能な地域を目指し各種施策に取り組みます。今後も、厳しさが増す財政環境にありますが、市民の誇りとして受け継がれてきた地域資源を生かしながら、魅力に満ちたまちの創出にまい進していきます。

【3つのまちづくりの視点から見た平成29年度の主要施策】

- ① 元気な未来にむけて、市民が豊かさを実感し活躍できるまちづくり
 - ・安全・安心な農産物の生産と消費拡大を促進し、農業の持続的な発展を図る。
 - ・中小企業や創業希望者等の支援で、地域産業の活性化、雇用の創出及び空き店舗解消に努める。
 - ・食肉流通拠点の充実や雇用拡大に向け、大型食肉処理施設立地への働きかけを行う。
 - ・十和田八幡平国立公園のブランド化と外国人観光客の誘客を促進する。
 - ・日本版DMOの推進やインバウンド対策等により観光消費額増加と雇用増大に努める。
 - ・「あおもり10市大祭典in十和田」が開催されることを生かし、地域の活性化と観光振興を図る。
- ② 希望あふれる未来にむけて、子どもたちが故郷に住みたいと思えるまちづくり
 - ・移住・定住就農支援、住宅取得・改修支援、若者世代定住等を推進し、定住者の増加に努める。
 - ・市民の主体的な活動を支援し、地域コミュニティ機能の維持・増進を図る。
- ③ 安心な未来にむけて、みんなが安心して暮らせるまちづくり
 - ・防災・災害対応拠点となる市役所新庁舎は、平成31年度開庁に向け建設工事に着手する。
 - ・病院事業は医師確保に努め、医療の質的向上と病院経営の安定化を図る。

平成28年度十和田市一般会計補正予算（第10号）

歳入歳出それぞれ9億7,568万円を追加し、それぞれの総額は312億8,679万円となる。

歳出の主なものは、平成28年8月の台風等により被害を受けた農家に対する自然災害作物等再生産支援事業、国の補正予算に伴う十和田湖畔地区への情報通信基盤整備推進事業、地域農業の担い手確保・経営強化支援事業、三本木中学校建設事業及び屋内運動場の吊り天井等の落下を防止するための学校施設非構造部材耐震改修事業に係る経費、寄附による地域振興基金及び子ども夢チャレンジ基金への積立金の追加など。

その他可決した主な議案

◇十和田市食と農の推進条例の制定

（農業振興及び農村の活性化のため「食と農」に関する基本理念等について定めたもの）

◇十和田市立小学校及び中学校設置条例の一部を改正する条例の制定

（平成30年4月1日に十和田湖小学校を十和田湖中学校に併置するためのもの）

◇十和田市副市長の選任（西村雅博氏を引き続き選任）

◇十和田市教育委員会委員の任命

（平成29年3月28日をもって任期満了となる小野寺功氏の後任として斗沢一雄^{とざわ かずお}氏を任命）

◇十和田市監査委員の選任

（平成29年3月28日をもって任期満了となる高野洋三氏の後任として高岡和人^{たかおか かずと}氏を選任）

◇十和田市固定資産評価審査委員会委員の選任（竹ヶ原克哉氏、矢倉陽悦氏、成田秀男氏を引き続き選任）